

利根町学校施設長寿命化計画【概要版】

■計画の背景・目的

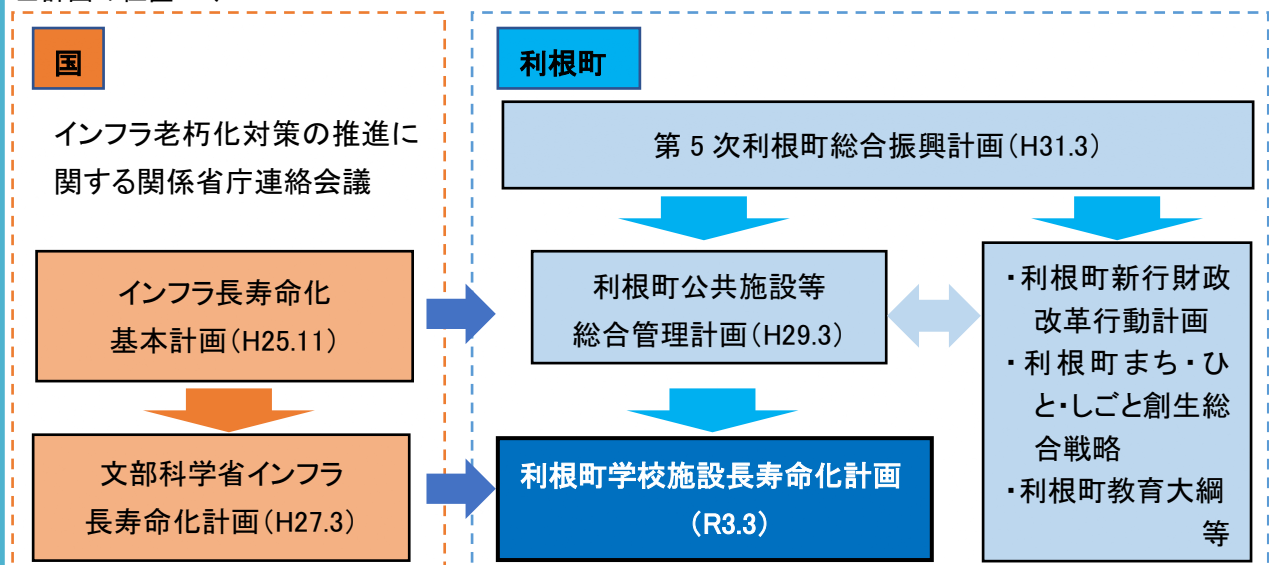
「利根町学校施設長寿命化計画」（以下「本計画」という。）では、町保有の学校教育系施設を将来にわたり安全・安心に使い続けるために、中長期的な維持管理に係るトータルコストを縮減し、財政負担の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的に、今後の維持保全の方向性や、整備内容、時期、費用等の具体的な内容を示すものとします。

■計画の位置づけ

本計画は、「インフラ長寿命化基本計画」における個別施設計画に位置づけられます。

また、平成 29（2017）年 3 月に策定された「利根町公共施設等総合管理計画」に基づき、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（文部科学省）を参考に策定します。

■計画の位置づけ



■計画期間

令和 3（2021）年度から令和 42（2060）年度までの 40 年間

計画期間内でも社会情勢の変化や国の動向へ柔軟に対応するため、PDCA サイクルの考え方にに基づき、5 年程度で適宜、計画を見直すこととします。

■対象施設

NO	施設名称	建物棟数	延床面積
1	文小学校	4 棟	5,649 m ²
2	文間小学校	3 棟	3,441 m ²
3	布川小学校	4 棟	4,880 m ²
4	利根中学校	8 棟	7,375 m ²
合計		19 棟	21,345 m ²

■ 学校施設の目指すべき姿

1 安全性、快適性を備えた学校施設

- ・防犯対策や施設の安全性に配慮した施設整備を図るとともに、ユニバーサルデザインを取り入れるなど、バリアフリー化を目指します。
- ・災害時には、緊急避難所として必要な防災機能の強化を行うなど、災害時の対応に配慮した施設整備を図ります。

2 様々な学習活動に適応した学校施設

- ・特色ある教育を進めるため、英語教育やプログラミング教育等、先進的な教育の推進により、魅力ある教育環境づくりを目指します。

3 環境に配慮した学校施設

- ・環境に配慮し、温室効果ガスの排出抑制や再生可能エネルギーの活用等の取り組みによりエコスクール化を図り、生活環境の充実や環境教育への活用を目指します。

4 地域に根ざした学校施設

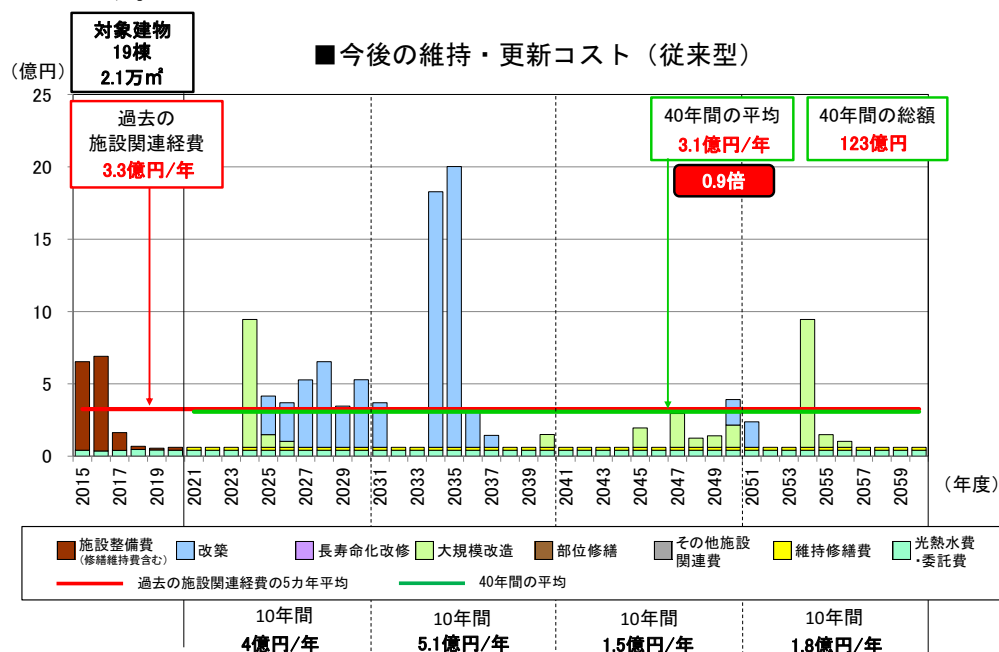
- ・地域と学校が連携・協力して地域の将来を担う子どもたちの育成を目指すとともに、地域コミュニティの拠点として地域に根ざした学校施設づくりを図ります。

■ 長寿命化による維持・更新コストの把握

今後の維持・更新コスト（従来型）

従来型（築50年で改築）の維持・更新コストは、今後40年間で約123億円、年平均約3.1億円と試算されます。

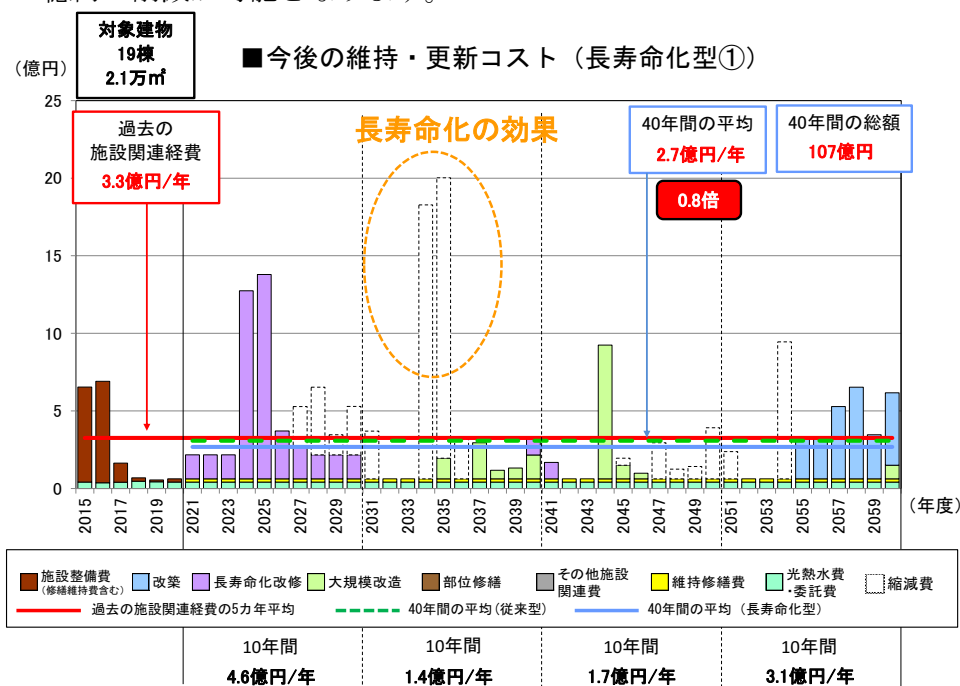
過去5年間の施設関連経費の平均は約3.3億円であることから、仮に今後も過去の施設関連経費と同水準の財源を確保し続けることができる場合は、従来型による維持管理の継続が可能なものと考えられます。



今後の維持・更新コスト（長寿命化型①・②）

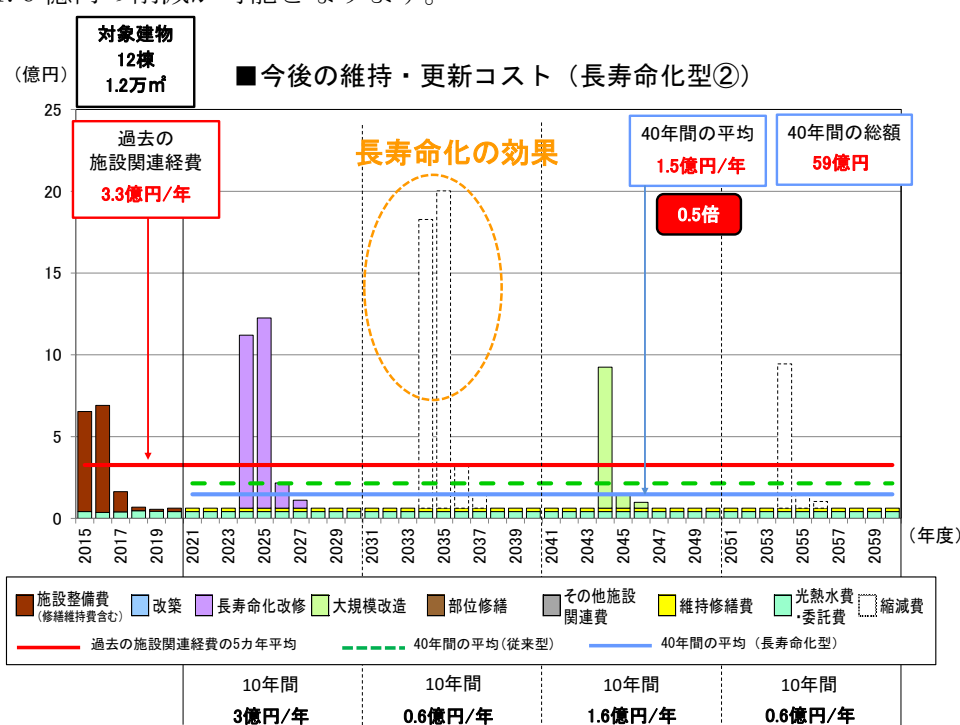
対象施設全てについて長寿命化改修を実施し、建物の使用年数を築 80 年まで延長する場合（長寿命化型①）、今後 40 年間の維持・更新コストは、総額で約 107 億円、1 年あたり約 2.7 億円と試算されます。

改築を中心に実施する従来型と比較すると、今後 40 年間に必要となる費用は約 16 億円、1 年あたり約 0.4 億円の削減が可能となります。



今後予定される統合を踏まえ、長寿命化型①の対象から文小学校及び文間小学校を除いた場合、今後 40 年間の維持・更新コストは、総額で約 59 億円、1 年あたり約 1.5 億円が必要になると試算されます。

改築を中心に実施する従来型と比較すると、今後 40 年間に必要となる費用は約 64 億円、1 年あたり約 1.6 億円の削減が可能となります。



■ 学校施設整備の基本的な方針

学校施設の長寿命化計画の基本方針

方針 1

予防保全型の維持管理による長寿命化



- ・既存施設を安全・安心な状態で長期的に利用するため、法定点検や日常点検により、施設の状況を把握し、計画的な保守・点検・修繕等を実施します。

方針 2

適切な維持管理によるコスト縮減



- ・施設の基本情報、点検結果、修繕履歴等を蓄積したデータベースの構築を行います。
- ・蓄積したデータベースを活用し、適切な維持管理による財政負担の平準化や計画的に部分修繕・改修を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

方針 3

社会情勢の変化に対応した機能の向上



- ・多様化する学習環境へ対応するため、英語教育やプログラミング教育等の先進的な教育を推進します。
- ・地域コミュニティの拠点施設として、誰もが利用しやすい施設を目指し、バリアフリー化の推進や省エネルギー化、再生エネルギーの活用等による環境負荷の低減等、社会情勢の変化にあわせた機能向上を図ります。

学校施設の規模・配置計画等の基本方針

1 現状の規模や機能を維持する学校（布川小学校、利根中学校）

- ・現時点では、望ましい学級数が確保されているため、教育方法・内容等の変化に適応させることに留意しつつ、児童生徒数の減少により余裕教室等の空きスペースが発生した際には、有効活用の方法を検討することとします。

2 統合に向けた検討を進める学校（文小学校、文間小学校）

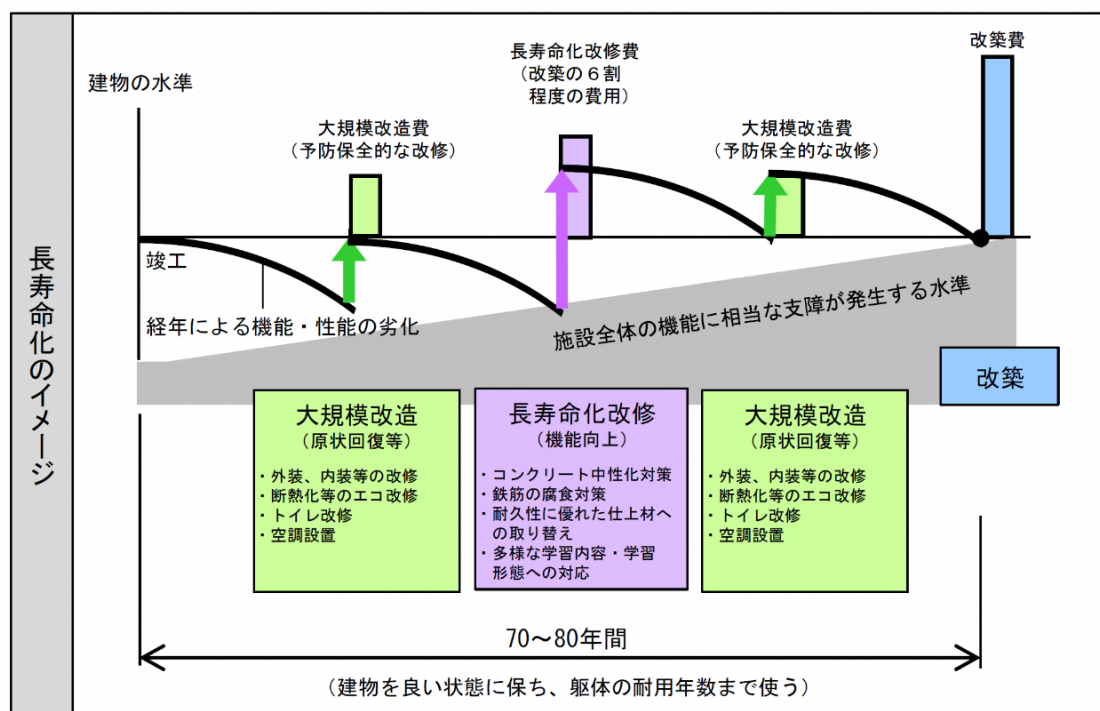
- ・望ましい学級数を下回り小規模校化している文小学校、文間小学校は、利根町小学校統合基本方針に即し、布川小学校への統合を目指します。
- ・令和 2（2020）年度に、利根町立小学校統合準備委員会を設置し、令和 5（2023）年度の小学校統合に向けて、具体的な内容の検討調整を進めています。

■改修等の基本的な方針

長寿命化の方針

今後は、建替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切替え、部位改修を併用した整備を行います。

■長寿命化のイメージ



資料：学校施設の長寿命化計画策定に関わる解説書(文部科学省)

目標使用年数の設定

学校施設等の物理的な耐用年数は、「適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70～80年程度(学校施設の長寿命化計画策定に係る手引(平成27年4月文部科学省))」とされていることを踏まえ、本計画の対象施設は全て構造躯体の健全性が確保されていることから、普通品質の上限値である**築80年まで使用することを目標**とします。

改修周期の設定

大規模改造を実施する際は、部位・設備等の更新周期に合わせておおむね20年周期で実施するものとし、計画的に行うことで劣化に対処するとともに、社会的な要求レベルの変化に対応して建物の性能の向上を図ります。

■目標使用年数と改修周期の設定

	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の時期
校舎, 屋内運動場, 格技場	80年	20年	築40年以上経過

■ 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

改修等の整備水準

改修等の実施にあたっては、躯体の経年劣化の回復やライフラインの更新等といった建築当初の水準に戻すだけでなく、省エネルギー化や学習環境の向上等、現在の社会的ニーズに対応するために基本的性能の向上を図ります。

維持管理の項目・手法等

学校施設をできる限り長く、安全で良好な状態で使用するため、今後は、従来のように不具合が生じた後に補修・修理を行う「事後保全型」の維持管理から、不具合を未然に防ぎ、劣化や損傷が顕在化する前の段階から予防的に対策を講じることで機能の維持・回復を図る「予防保全型」の維持管理へ移行していきます。

「予防保全型」の維持管理では、日常的・定期的な施設の点検を実施することが重要となることから、下表に示す日常的・定期的な点検により建物の劣化状況を把握することで、児童生徒の安全・安心を確保するとともに、緊急対応に要する修繕費用の縮減を図ります。

■ 各種点検項目

調査主体	調査者	点検種別	周期	点検の内容
学校設置者 (学校施設 所管課)	専門業者 (有資格者)	建築基準法第 12 条に基づく調査, 点検	3 年	敷地, 建築構造, 建築仕上げ, 防火区画, 建築設備等の損傷, 腐食その他の劣化状況
			1 年	防火設備の点検, 動作確認
		消防法第 17 条に基づく点検	1 年	総合点検
			6 か月	機器点検
			3 年	点検結果報告
	学校施設 所管課職員	劣化状況点検	1 年	施設の劣化状況の点検 (日常点検の総括)
学校	教職員等	学校保健安全法に基づく安全点検	日常	日常的な設備等の動作確認等

保全の実施方針

建物は、耐用年数が異なる様々な部位・設備で構成されているため、劣化した場合の安全性、執務等への影響等を踏まえ、「部位・設備ごとの標準的な修繕・更新周期」を踏まえて保全を実施するものとします。

■長寿命化の実施計画

令和4(2022)年から令和5(2023)年に、老朽化の進行している「布川小学校(屋内運動場)」
「利根中学校(屋内運動場, 格技場)」の大規模改造を計画します。

直近5年間に係る施設関連経費は約464百万円で、1年あたり約93百万円かかる見通しです。

ただし、この金額は毎年予算化されることが確約されているわけではないため、あくまでも制約条件として設定した金額となります。なお、財源については、国の補助金制度等を適切かつ効果的に活用し、財政負担の軽減を図ります。

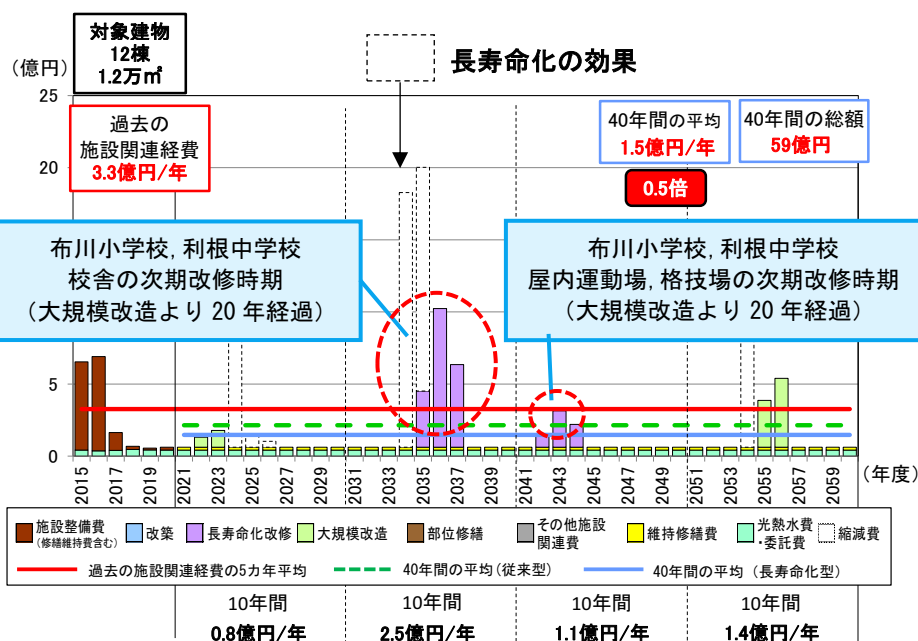
■直近5年間の実施計画

		2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7	
		学校名 (事業内容)	事業費	学校名 (事業内容)	事業費	学校名 (事業内容)	事業費	学校名 (事業内容)	事業費	学校名 (事業内容)	事業費
施設整備費	大規模改造(老朽)	布川小・屋内運動場 設計業務委託	6.8	布川小・屋内運動場	69.0	利根中・屋内運動場	80.0				
				布川小・屋内運動場 工事監理業務委託	4.4	利根中・格技場	36.0				
				利根中・屋内運動場 設計業務委託	9.0	利根中・屋内運動場 工事監理業務委託	5.1				
				利根中・格技場 設計業務委託	4.1	利根中・格技場 工事監理業務委託	2.3				
	障がい児等対策	布川小 (統合改修工事設計 業務委託)	8.4	布川小 (エレベーター設置)	79.6						
				布川小 (多目的トイレ設置)							
				布川小 (統合改修工事監理 業務委託)	3.2						
	部位修繕			利根中 (普通教室ドア改修)	4.1	利根中 (普通教室ドア改修)	4.1				
				利根中 (特別教室棟1階トイレ 及び2階トイレ改修)	1.3						
	その他 施設整備費	布川小 (駐車場整備)	20.0	布川小 (プール管理棟屋根塗装)	1.5	利根中 (駐輪場塗装)	17.5				
		布川小 (バスロータリー整備)				利根中 (渡り廊下塗装)	5.6				
維持修繕費		過去平均	20.5	過去平均	20.5	過去平均	20.5	過去平均	20.5	過去平均	20.5
年度別合計			55.7		196.7		171.1		20.5		20.5
5カ年合計						464.4					
平均/年						92.9					

■長寿命化のコストの見通しと長寿命化の効果

次期改修の際は、全ての建物が築40年以上経過し、老朽化の進行も予測されることから、中長期的な維持管理に係るトータルコスト削減を目的とする長寿命化改修の実施についても、検討を進める必要があります。

■長寿命化コストの見通し



■長寿命化計画の継続的運用方針

情報基盤の整備と活用

本計画の策定にあたり、学校施設の基本情報や保全計画、建築基準法第12条に基づく点検結果等をまとめた施設カルテを作成しました。

施設カルテの情報は、データベース化し、情報の一元化や共有化を図るとともに、継続的な点検・調査の結果に基づき適切に更新を行い、今後の維持管理の効率化や改修計画の基礎的データとして活用していきます。

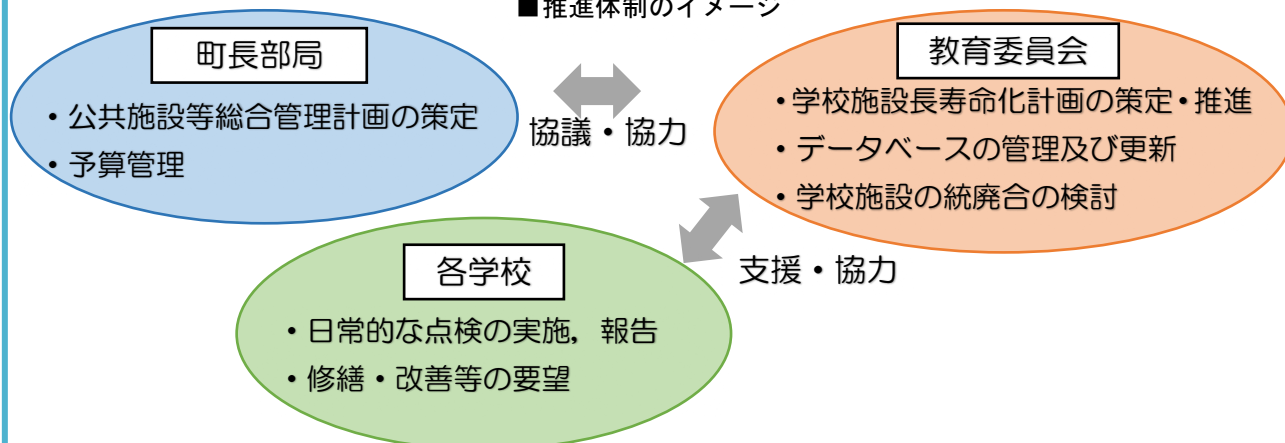
推進体制等の整備

本計画は、学校施設を所管する教育委員会が中心となって推進していきます。

ただし、本計画は、利根町公共施設等総合管理計画の具体的な取り組み方針を示す実行計画であるとともに、町全体の財政状況とも密接に関連することから、教育委員会だけでなく町長部局とも連携した対応を推進します。

さらに、各小中学校と協力して不具合箇所の早期発見と修繕対応を行うことで、学校施設の効率的な維持管理を図ります。

■推進体制のイメージ



フォローアップ

■PDCA サイクルに基づく計画のフォローアップ

学校施設の機能・性能を確保していくためには、改修による効果等を確認し、改修内容や工法等を継続的に見直していく必要があります。

また、本計画については、教育を取り巻く環境や社会情勢等の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行うものとします。

